

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援センターあすいろ		
○保護者評価実施期間	令和7年2月13日		～ 令和7年4月11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	64名	(回答者数) 35名
○従業者評価実施期間	令和8年2月13日		～ 令和8年2月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○訪問先施設評価実施期間	令和8年3月1日		～ 令和8年3月25日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	35件	(回答者数) 27件
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月16日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	当施設に専門的な職員(心理士、作業療法士、言語聴覚士等)がいるため、保護者、本人、訪問施設からの疑問や困り感に対して専門的な視点から説明が出来る。	困り感に対して、その状況だけをアセスメントをするのではなく、家庭などの背景もしっかりとアセスメントしながら支援内容を検討している。 事業所で定期的にケース検討会などを行い、多職種からのアドバイスももらっている。 訪問施設の要望に合わせてフィードバックの方法を変えている。	継続的にケース検討を行い、多職種との連携を図って、支援計画の充実と、実効性のある内容、実行できる各スタッフのスキルアップに取り組んでいく。
2	ご家族様との連携を重視し、訪問時の活動の様子や出来事、成長を共有できている。	連絡アプリの活用し訪問後はすぐに情報共有をしている。 た、連絡アプリだけではなく、電話やメールも活用し共有している。 困り感があれば、保護者の日程に合わせて、面談等を行っている。	本人やご家族様と定期的な面談を行い、本人の想いやご家族様の想いがより反映できる支援内容になるように図っていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	給付された訪問日数分、訪問出来ていない。	適応しつつある児童などは、頻度を減らして対応しているが、訪問施設の支援者には説明しているが保護者への説明が出来ていない事がある。 訪問員の1人あたりの担当人数が多く対応出来ていないときがある。	頻度を調整する場合は、事前に保護者に説明する面談か、訪問の報告際に説明していく。 訪問員が対応しやすい担当人数を調整していく。
2	事業所で研修を行っているが保護者への周知が出来ていない。	連絡アプリで研修の広報をしているがアプリを開かないと見れないので周知されにくい。	公式ライン等を活用して連絡アプリ以外でも研修を周知できるように検討していく。
3			

公表 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 ことども発達支援センターあすいろ

公表日 令和8年4月25日

利用児童数 64名

回収数 35

	チェック項目	はい	どちらとも いい/ない	いい/え	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教員教材が整えられていますか。	26	1		8			
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	30	1		4			
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	35						
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	31	4					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	28	3		4	たまに人数不足かな？と感じる。支援に不満はないです。		
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	35						
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	34	1					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	33			2			
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	33			2			
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	33	1		1			
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	34			1			
	保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	34			1		
		13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	35					
		14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	25	4	1	5		
		15 必要などきこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	35					
16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。		35						
17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。		35						
18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。		33	1		1			
19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。		35				比嘉さんの助言が具体的に分かりやすくて良いです。		
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。		34			1			
21 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。		33	1		1			
22 保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	35							
非 常 時 等 の 対 応	23 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	31			4			
	24 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	35						
	25 事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	25	2		7			
満 足 度	26 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	30	2		2			
	27 こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	30		5		とても助かっています。訪問支援で担当が来るのを楽しみにしているようです。とても安心して利用させていただけます。		
	28 事業所の支援に満足していますか。	35				困り事のアドバイスをもらえて、子供も保育園の先生も、とても助かっているようです。保育園生活を楽しく過ごせるように、これからも支援をお願い致します。このような支援は親にとっても有り難く、また、学校も助かると思うので、ぜひ充実させてほしいですし、くならないでほしいです。こどもをたくさんの方が見守っていただけて感謝しています。ありがとうございます 🍵		

公表 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日		令和3年4月25日	
こども発達支援センター あすいろ		施設数		27件	
チェック項目	はい	どちらかといえばいい	いい	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	26	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>- 学校での子どもの様子を見て、実際に取り入れられることを勧誘していただきました。</li> <li>- 児童の支障に悩んだ時、困った時に相談でき 次の手立てが見えた</li> <li>- 子どもの特性ごとのケアのチームによって課題（困っていること）が変化していきますが、それを実際に見てもらったりして、アドバイスを受けられるようになりました。</li> <li>- 具体的な方法を提案してくれて助かっていました。実際に解決のために本人にも一緒に考えてくれており、ノウハウをすべてくわたりてもらって助かりました。</li> <li>- その態度、的確に助言があり、取り返しができない日は電話で連絡をいただいています。</li> <li>- 具体的にわかりやすく、教えてもらった事に従って変更しました。</li> </ul>	
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	26	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>- 個別や目的の児童について、個別対応の具体的な事例のご紹介など、詳しく教えてくれました。</li> <li>- どうしたらいいか悩んでいる時でも支援する側の気持ちの持ち方や優先度の転換も気付かされたりとよかったです。</li> <li>- 児童への話し方、声かけの仕方などについて詳しく、けが、夕まなごは必ず外出先での、「ここがダメで、ここしたら」としてはいいか悪いのかの代替案を提案してたりと、話し方を覚えていけることができました。</li> <li>- こどもの特性を尊重して見てくださるので、その子に合った支援の仕方を教えてくれている。</li> </ul>	
3 訪問支援員は質問に対して、適切・適切な回答してくれていますか。	26	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>- わかりにくいことや相談事項に丁寧に答えてくれたり、必要に応じて学校に来て子どもの様子や状況を教えてくれました。</li> <li>- その時その時の状況にあった内容での回答だった。すぐに回答できなくて、持ち帰りまするね、と、置かれておき、LINEや電話などでさらにアドバイスもらったりしました。</li> <li>- ごまごま連絡、対応して頂きたいです。- 個別のニーズや相談事項に丁寧に対応して下さる。- 子どもの様子よく相談も聞いて下さいます。</li> <li>- どんな質問にも丁寧に回答して下さり感謝しています。</li> <li>- ごちからからの疑問や質問に対して、適切な回答に対応していただき、安心して相談することができています。</li> </ul>	
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	25	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>- 専門的な視点からアドバイスをいただく、とても助かりました。</li> <li>- 支援する側の気持ちにまで寄り添った言葉がけもあり気持ちも楽になりました。それが児童にも向き合える事につながっています。</li> <li>- アドバイスを受け、実践したことが本所にとっての課題解決の手立てとなった。</li> <li>- 保護者とのやりとりでも、嫌になって連絡がよくなるまで待つべき、など、なんでも相談に1歩を踏み出さず、帰ってしまいます。</li> <li>- 訪問支援員さんが来る子どもたちが安心して交遊相手への関わりが深まることかできています。</li> <li>- 受給中で、保護者と生徒を福祉と教育の立場から支援できるとよかったです。</li> <li>- 保護者同士の助け合いがほしい。</li> <li>- 支援費だけでなく、支援費を振り替える環境まで配慮していただきました。</li> <li>- 先生と児童が子どもたちを愛して育むことができたり、学ぶ環境が本所が学校中できないと意識し出してからだったりと助かっています。</li> <li>- 保護者の気持ちも聞かされたら、とても助かりました。</li> <li>- その場へアドバイスしていただき助かっています。相談→実践→再相談→改善のサイクルです。</li> <li>- 担任と保護者の間に入り大変だとは思いますが、心強いです。</li> <li>- 行事の準備や行事の準備も一緒に進めてくださることができるとよくなりました。</li> <li>- 話しを聴いてくれて、次の取り組みに繋がることができています。</li> <li>- 様々な角度から考えることができました。</li> <li>- ひとつのことだけでなく、前々までいこと課題がたいては対応はしやすいことができた。</li> <li>- 本所の成長が早く、特に特別支援を牽引していただい、困り事もなく減らすことができました。</li> <li>- 子どもの課題や困り、伸ばしたい点について相談することで、かわりあいのヒントを得ることができています。</li> </ul>	
5 事業所からの支援に満足していますか。	27			<ul style="list-style-type: none"> <li>- 子どもの学習環境や、生活能力・学習指導方法など、多岐に亘り支援していただき、とても満足しています。</li> <li>- 保護者も安心です。どんなふうに関わるかという点の明確に伝えてくれた。</li> <li>- 個別に大きな負担がかかる場合は、別ので相談して保護者にも相談、理解を促すのがいいのかなどです。様子を見てから、追加のアドバイスしていただくのも心強かったです。子どもとも信頼関係を築いてくれていて、子どもとの関係もよくなりました。</li> <li>- いろいろなことにアドバイザーとしていたいただきました。ありがとうございます。</li> </ul>	
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> <li>- 一緒に子どもの成長について考えていくことができるとよかったです。</li> <li>- 保護者やその他の関係機関とのやりとりなど今後も積極的に行われたいと思います。</li> <li>- いろいろな関係がある中で、おかげで不安な思いを減らしたと思います。学校も子どもたちのことを思い、いろいろな子どもたちと関わっておりますので、今後も本所の良き関係を持っていただければと思います。ありがとうございます。</li> <li>- 困り事や、相談に感謝することができています！</li> <li>- わかりやすい助言や情報共有のおかげで、日々の保育に生かすことができています。ありがとうございます。今後よろしくお願いいたします。</li> <li>- 訪問の頻、お悩み相談を少なく、訪問の頻度をアドバイスまでいただき大変助かりました。専門のアドバイザーなので大変助かりました。保護者と連携も学ぶことができました。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>- 今後とも訪問頻度などの調整を踏まえて、数年後の訪問、サービスなどの改善を事に行っています。また、支援費が相対するようになり、引き継ぎ、訪問頻度に合わせた、フィードバックの方法、連携方法を検討していきます。</li> </ul>	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こども発達支援センターあすいろ					公表日 令和8年4月25日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境 制 整 運 営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	3		・情報共有により、適切な教材を紹介できている。 ・その児童に合わせて作成している。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3		・保育所等ミーティングで確認を取っている。		
業務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3		・院長や理事をいれて月に1回ミーティングを行っている。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		・HUGを活用		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		・保育所等ミーティングを活用		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3		・訪問先からの評価をうけ、改善につなげている。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		・社内、社外		
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3				
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		・月1回ミーティングを行い共有している		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3		・モニタリングで確認		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		・モニタリングで確認		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3				
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3				
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		・その日できない時は月の終わりにまとめて話し合いをもつ。もしくはスマホを活用して報連相を行っている。		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3		・学校の計画にすり合わせ確認をしいる		
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3					

関係機関や保護者との連携	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3		・心理士、NSなど専門職からのアドバイスをもらっている。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	3			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3			
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		・モニタリングで確認している	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3		園や学校からちょっとした変化など情報をもらい電話をかけて家族支援につなげている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3		・あすいろの事業所で行っているので、開催の時には紹介している。	
	33	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	1	・保育所等はやっていないと思う	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		・絵カードなどを活用して本人の気持ち確認して、丁寧に行っている		
訪問先施設への	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3		・園ではお昼寝時間、小学校では16時以降に行っている。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3		・HUGまたは電話にて共有をしている。	

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		・あすいろにて研修を行った	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		・あすいろにて研修を行った	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		・あすいろにて研修を行った	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		・あすいろにて研修を行った	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3		・あすいろにて研修を行った	